第５分科会　小中学校における不登校支援の在り方

～子どもの多様な学びにつながる適切な不登校支援を探る～

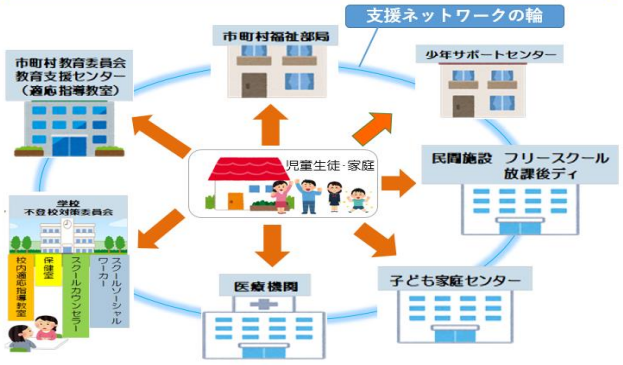
大阪府教育庁市町村教育室
小中学校課生徒指導グループ

「多様な学び」って何？「つながる」って具体的にどうするの？
不登校児童・生徒やその兆しのある子どもたちへの支援を探ります！

大阪府の不登校児童・生徒数は全国同様、年々増加し、**その要因・背景や支援ニーズは多岐に渡る傾向**にあります。

本分科会では、ＩＣＴを活用した取組み、支援の核となる居場所づくりについての実践発表、不登校支援に携わる認定ＮＰＯ法人による講演、パネルディスカッションを通して、**これからの不登校支援について、学校のヒントとなる取組み**をお伝えします。

多種多様な関係機関との連携



実践発表

多様な教育機会や居場所の確保について

1. ICTを活用した取組み （市町村教育支援センターより）
2. フリースクールだからこそできる学び （フリースクールより）
3. 子どもたちが安心して通える魅力ある学校づくり （小中学校より）

講演

認定ＮＰＯ法人 CLACK

困難な状況にある子どもへの支援
多様な支援のひとつとしてのプログラミング学習支援
理事長　平井　大輝（FORBES JAPAN 30 UNDER 30 2023 選出）

パネルディスカッション

ファシリテーター　：　**関西外国語大学　教授　新井　肇**
（「生徒指導提要の改訂に関する協力者会議」副座長）

国調査では、不登校児童・生徒のうち、約4割が学校内外の相談・指導につながっていないという結果が出ています。
「生徒指導提要に基づいた生徒指導の方向性」を確認したうえで、教職員、SC・SSW等専門家、子どもに関わる団体等、それぞれの立場から**「多様な学び」に向けて**子どもを支えていく方法と、お互いにつながるための工夫について協議し、参加者にとって、**明日からできる子ども支援のヒント**にせまります。